

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

2021年8月10日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因
営業収益	113,925	124,961	11,035	9.7	「セグメント別業績」参照
営業損失 (△)	△ 38,030	△ 14,579	23,451	—	「セグメント別業績」参照
営業外収益	8,343	8,306	△ 36	△ 0.4	
うち持分法による投資利益	2,318	3,643	1,324	57.1	
営業外費用	3,021	2,601	△ 419	△ 13.9	
うち支払利息	1,963	1,921	△ 41	△ 2.1	
経常損失 (△)	△ 32,708	△ 8,874	23,833	—	
特別利益	3,435	18,241	14,806	431.0	負ののれん発生益 10,863 投資有価証券売却益 2,481
特別損失	7,093	6,199	△ 894	△ 12.6	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 23,985	9,300	33,285	—	

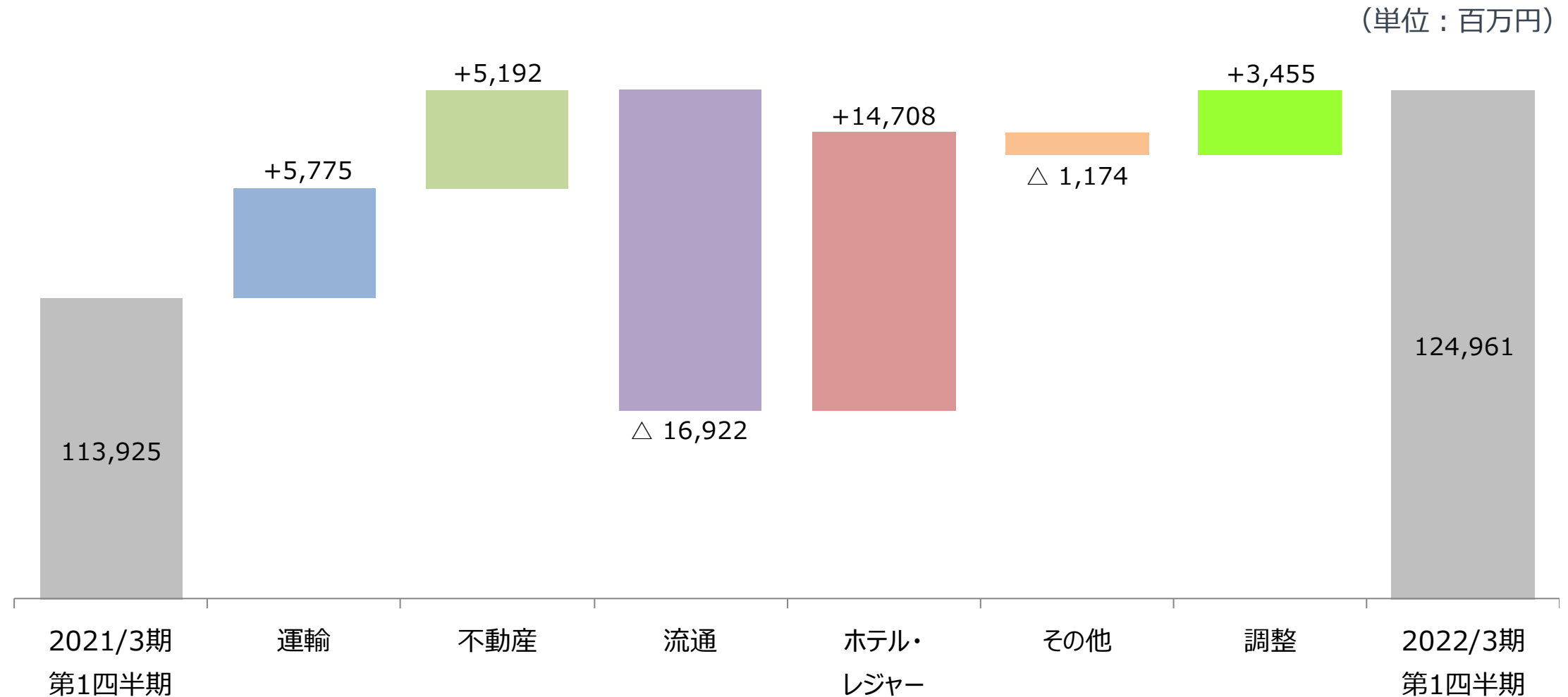
連結子会社数 82社 (前期末比2社増)

持分法適用会社数 6社 (前期末比2社減)

決算ポイント（営業収益）

新型コロナウイルス感染症が収束せず依然として厳しい事業環境が続いているが、前年同期の緊急事態宣言に伴う外出自粛の反動増もあり、運輸業、不動産業、及びホテル・レジャー業において増収

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、連結で△24,083百万円の減収

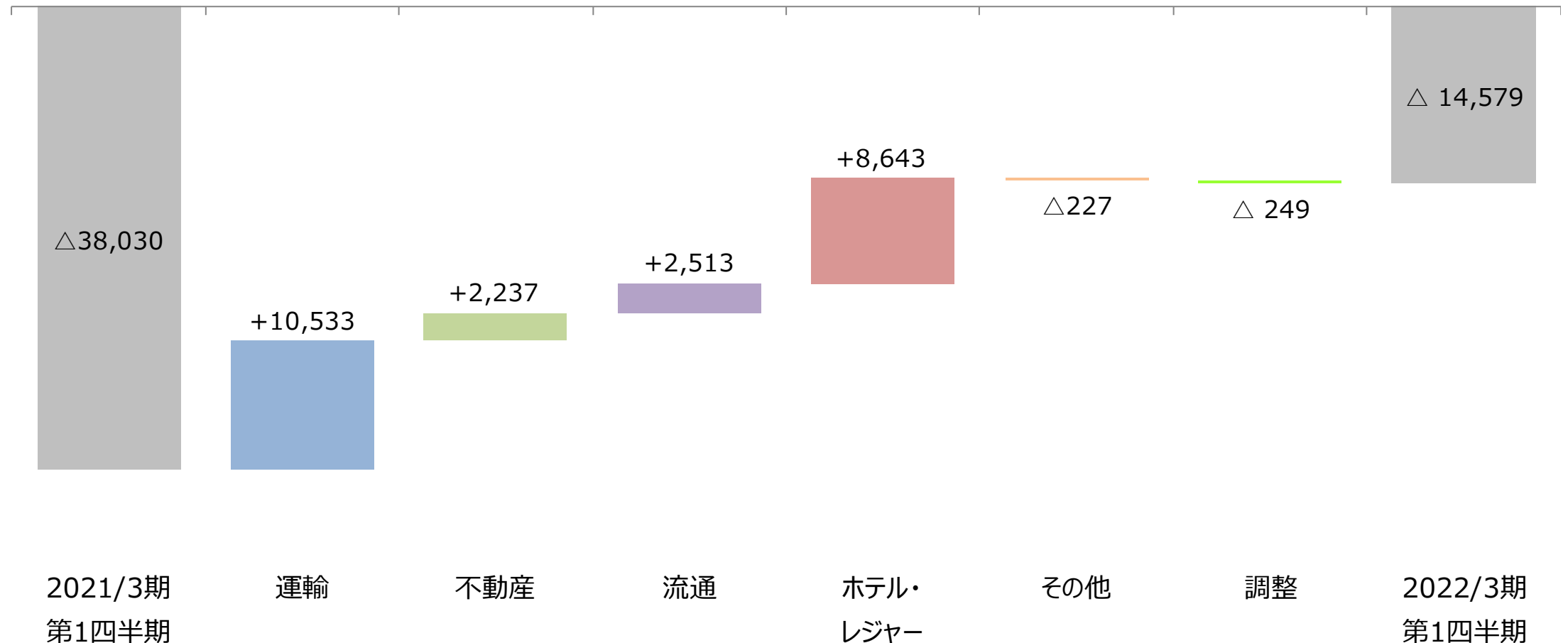


決算ポイント（営業損益）

各主要セグメントで損益は改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、連結では損失計上

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、連結で1,292百万円の損益改善

（単位：百万円）



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率	※会計基準変更 による影響額
運 輸	営業収益	29,140	34,916	5,775	19.8	△ 317
	営業損益	△ 13,880	△ 3,346	10,533	—	△ 74
不 動 産	営業収益	24,620	29,812	5,192	21.1	△ 642
	営業損益	1,557	3,795	2,237	143.7	175
流 通	営業収益	60,551	43,629	△ 16,922	△ 27.9	△ 29,667
	営業損益	△ 3,490	△ 977	2,513	—	14
ホテル・レジャー	営業収益	6,188	20,897	14,708	237.7	5,970
	営業損益	△ 21,437	△ 12,793	8,643	—	1,176
そ の 他	営業収益	5,407	4,233	△ 1,174	△ 21.7	—
	営業損益	476	248	△ 227	△ 47.8	—
調 整	営業収益	△ 11,983	△ 8,527	3,455		573
	営業損益	△ 1,255	△ 1,505	△ 249		—
連 結	営業収益	113,925	124,961	11,035	9.7	△ 24,083
	営業損益	△ 38,030	△ 14,579	23,451	—	1,292

※当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	29,140	34,916	5,775	19.8
鉄軌道	20,175	24,338	4,162	20.6
バス	4,479	5,391	911	20.3
タクシー	1,466	1,758	291	19.9
鉄道施設整備	2,598	2,042	△ 555	△ 21.4
その他運輸関連	2,632	2,737	105	4.0
調整	△ 2,211	△ 1,351	860	
営業損益	△ 13,880	△ 3,346	10,533	—
(主な内訳) 鉄軌道	△ 10,023	△ 1,614	8,409	—
バス	△ 2,117	△ 576	1,541	—

《鉄軌道》

- 定期、定期外ともに新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているが、前年同期の緊急事態宣言期間中の出控えの反動増もあり、増収、損益改善

【会計基準の変更による影響額】 営業収益:△317百万円 営業損益:△74百万円

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率(%)
輸送人員 (千人)	94,424	112,351	17,927	19.0
定期外	26,799	35,220	8,421	31.4
定期	67,625	77,131	9,506	14.1
営業収益 (百万円)	20,175	24,338	4,162	20.6
旅客収入	18,595	23,011	4,416	23.7
定期外収入	9,281	12,737	3,455	37.2
定期収入	9,313	10,274	960	10.3
運輸雑収等	1,580	1,326	△ 253	△ 16.1
営業損益 (百万円)	△ 10,023	△ 1,614	8,409	—

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	24,620	29,812	5,192	21.1
不動産販売	5,841	10,969	5,127	87.8
不動産賃貸	11,052	10,674	△ 377	△ 3.4
不動産管理	8,958	9,185	226	2.5
調整	△ 1,231	△ 1,016	214	
営業損益	1,557	3,795	2,237	143.7
(主な内訳)				
不動産販売	△ 1,153	723	1,877	—
不動産賃貸	2,617	2,766	149	5.7

《不動産販売》

- 前年同期は緊急事態宣言下で営業活動が制限されていたが、今期はマンション分譲戸数や仲介手数料の増加等により、増収、利益計上

【会計基準の変更による影響額】 営業収益：△642百万円 営業損益：+175百万円

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	60,551	43,629	△ 16,922	△ 27.9
百貨店	39,053	21,720	△ 17,332	△ 44.4
ストア・飲食	21,605	21,980	375	1.7
調整	△ 106	△ 71	35	
営業損益	△ 3,490	△ 977	2,513	—
(主な内訳)				
百貨店	△ 2,234	△ 642	1,592	—
ストア・飲食	△ 1,256	△ 342	913	—

《百貨店》

- 緊急事態宣言に基づく主要店舗の休業等の影響や消費マインドの低下に加え、「収益認識に関する会計基準」等の適用による売上高計上方法の変更が大きく影響し減収となったが、徹底した経費削減を実施し、損益改善

《ストア・飲食》

- 駅ナカ店舗やサービスエリアで期を通じて営業を継続していたこと等により増収、損益改善

【会計基準の変更による影響額】 営業収益：△29,667百万円 営業損益：+14百万円

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	6,188	20,897	14,708	237.7
ホテル	1,979	3,824	1,844	93.1
旅行	3,322	16,035	12,712	382.6
映画	651	760	108	16.6
水族館	234	277	43	18.4
調整	—	—	—	—
営業損益	△ 21,437	△ 12,793	8,643	—
(主な内訳)				
ホテル	△ 6,552	△ 4,895	1,657	—
旅行	△ 14,252	△ 7,431	6,821	—
水族館	△ 629	△ 528	100	—

《ホテル》

- 本年も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、稼働率は低調に推移したが、緊急事態宣言期間中の営業休止施設が今期は一部にとどまったため増収、損益改善

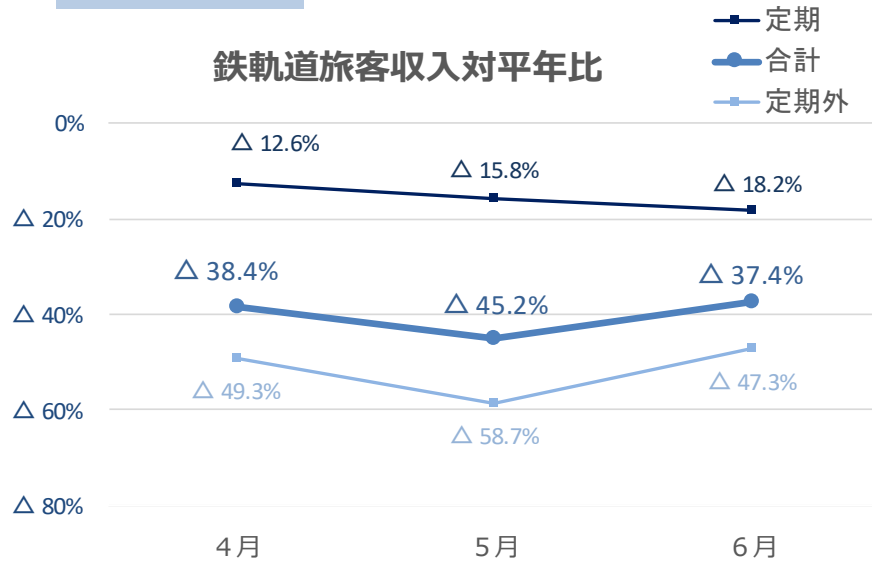
《旅行》

- 海外旅行、国内旅行ともに依然として厳しい状況が続くなか、旅行業以外の受託業務に注力したほか、販管費の削減に努め、増収、損益改善

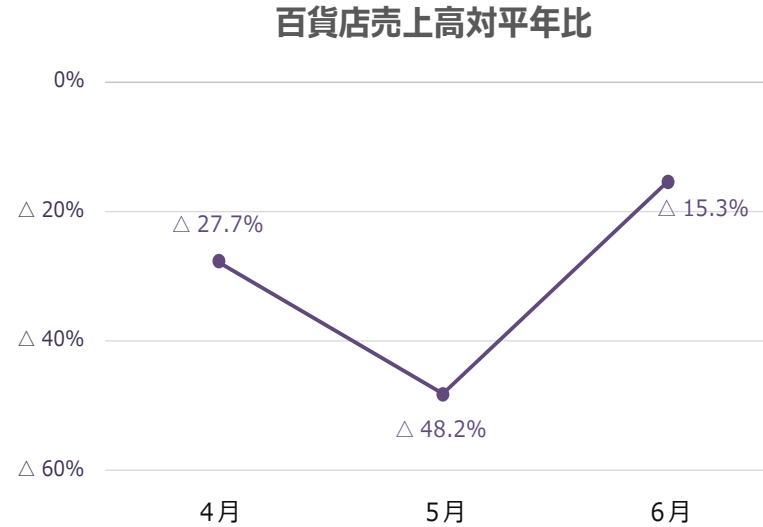
【会計基準の変更による影響額】 営業収益：+5,970百万円 営業損益：+1,176百万円

各事業の月別推移（平年比）

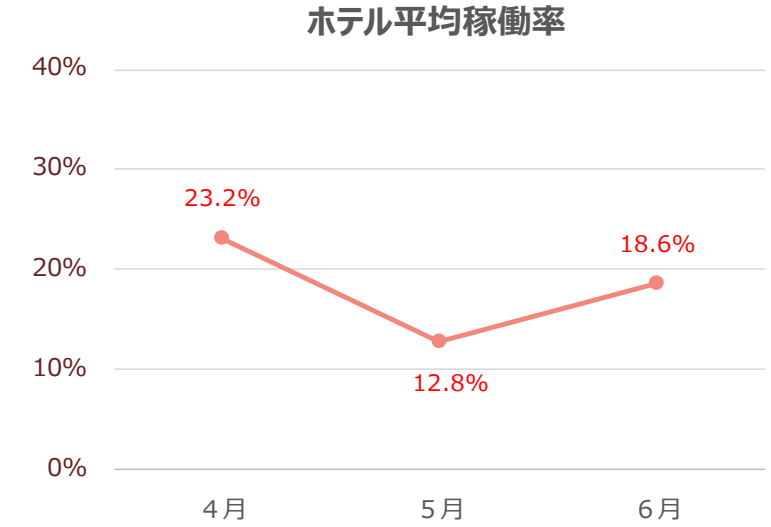
運輸



流通



ホテル・レジャー



《鉄軌道》

- 4月29日から、大阪線、奈良線、京都線、南大阪線において最終列車の繰り上げを実施。また、7月3日以降は全線において、利用状況に応じたダイヤの見直し。

《百貨店》

- 4月25日から一部店舗（あべのハルカス近鉄本店、上本町店、Hoop、and、上本町YUFURA）で、生活必需品を扱う食料品売場等を除き全館臨時休業。6月1日から、生活必需品を扱う売場以外でも営業を再開。

《ホテル》

- 下記ホテルが一定期間休業。
「大阪マリオット都ホテル」4月25日～6月20日、「都リゾート 奥志摩アクアフォレスト」5月6日～6月30日、「ホテル近鉄ユニバーサル・シティ」4月26日～5月31日

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期 第1四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	331,123	365,750	34,626	現金及び預金 37,068
固定資産	1,621,243	1,610,808	△ 10,434	投資有価証券 △13,343
資産合計	1,955,048	1,979,132	24,084	
流動負債	585,804	587,714	1,910	
固定負債	1,030,748	1,020,835	△ 9,912	
負債合計	1,616,553	1,608,550	△ 8,002	
純資産合計	338,494	370,582	32,087	
うち利益剰余金	40,829	48,807	7,978	
うちその他の包括利益累計額	92,829	91,872	△ 956	
負債・純資産合計	1,955,048	1,979,132	24,084	
借入金・社債残高	1,182,219	1,186,409	4,190	
借入金	792,571	817,231	24,660	短期借入金 29,976
社債（コマーシャルペーパー含む）	389,648	369,178	△ 20,470	1年内償還社債 △20,000

お問合せ先

経理部

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp